

(大正五年四月六日第三種郵便物認可)昭和十一年一月廿五日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 二 卷 第 二 册

第 二 百 三 十 九 號

昭 和 十 一 年 二 月 一 日 發 行



地 域 的 社 會 圈 と し て の 故 郷 と 郷 土

文 學 士 白 井 二 尚

デ カ ル ト の 形 而 上 學 (承 前)

文 學 士 野 田 又 夫

淨 土 教 思 想 の 中 觀 哲 學 的 解 明

文 學 士 向 田 永 靜

雜 錄、卒 業 論 文 題 目

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

前 號 目 次

感情の煩惱的性格……………文學士 佐藤 幸治

知覺形而上學の問題……………文學士 土井虎賀壽

デカルトの形而上學……………文學士 野田 又夫

哲學論文集 第一

哲學體系への企圖

文學博士

西田幾多郎著

菊判三五四頁

クロス装製函入

定價二・三〇送料二一

新刊

此書は西田哲學最近の成果を收め、なほ讀者の理解に資すべく未發表の一篇「圖式的説明」を附したものである。歴史的實在の世界は現代哲學の最も重要な中心問題であるが、これを追求し闡明する博士の強靱なる辯證法的思索は愈々深化すると共に現實性を高める。近來西田哲學に對する社會各方面の關心は著しく増大して來た。惟ふに西田哲學は西洋文化移植後の日本に初めて作られた獨創的哲學であり、東洋古來の思想への全く新たな連繫を含み、將來日本の哲學の傳統の出發點となるべきものである。日本的にして世界的なる思想を求める人々に我々は躊躇なく此書の必讀を勧める。

内容目次 一、世界の自己同一と連續 二、行爲的直觀の立場 圖式

的説明

善の研究 一・八〇

善の思索と體驗 一・八〇

自覺に於ける直觀と反省 三・三〇

意識の問題 二・三〇

藝術と道德 二・三〇

働くものから見るものへ 三・三〇

一般者の自覺的體系 三・八〇

無の自覺的限定 三・五〇

哲學の根本問題 〇・八〇

哲學の根本問題 續編 〇・八〇

一 辯證法的世界

(大正五年四月六日)昭和十一年一月廿五日印刷納本(毎月一回)第三種郵便物認可(昭和十一年二月一日發售) (一月一日發行)

哲學研究 第二百三十九號 定價金四拾錢

郵税金壹錢

東京 神田 橋 振替 六二 〇四 店書波岩